

<参考> 講師の略歴

鈴木 浩明（すずき ひろあき）

公益財団法人鉄道総合技術研究所 研究開発推進室 主管研究員

昭和 63 年 早稲田大学大学院文学研究科心理学専攻修士課程修了

平成 元年 財団法人鉄道総合技術研究所に入所

以後、ヒューマンエラー事故防止、車内快適性の向上、鉄道車両・設備のユニバーサルデザイン化などに関わる研究開発に従事

平成 10 年 早稲田大学より博士（人間科学）の学位を授与

平成 13 年 人間工学研究室長

平成 19 年 人間科学研究部長

平成 25 年 4 月より現職



（講演概要）鉄道のヒューマンエラー事故防止に向けて

いくら気をつけていても、人はたまにエラーを起こしてしまいます。思い込み、聞き間違い、慣れ、失念。エラーの種類や程度は様々です。中には、笑い話で済むようなエラーもありますが、時にはエラーが深刻な事故へとつながります。旧国鉄時代も含め、鉄道総研では約 50 年に渡って、ヒューマンエラー事故を防ぐための研究を推進してきました。本日の講演では、まず「人はなぜエラーをしてしまうのか」について、いくつかの具体的な事例を引用して解説します。次いで、指差喚呼の効果体験プログラムや事故のグループ懇談手法、事故の聞き取り手法など、ヒューマンエラー事故を防止するための最近の主な取り組み事例を紹介します。

石橋 明（いしばし あきら）

株式会社安全マネジメント研究所 代表取締役所長 工学博士

昭和 44 年 中央大学法学部卒業

平成 7 年 早稲田大学大学院人間科学研究科でヒューマンファクターズの研究に従事（社会人研修生）

平成 11 年 全日空で飛行時間 19,500 時間を記録した後、全日空機長をリタイアその後、ヒューマンファクター研究所を設立

平成 17 年 JR 西日本安全諮問委員、JAXA 有人サポート委員、東北大学未来科学共同研究センターリサーチフェロー、などを歴任し、現在は JR 西日本安全研究所客員研究員、国土交通省航空保安大学校部外講師等を歴任

平成 22 年 9 月東北大学大学院工学研究科博士課程後期 3 年の過程を工学博士取得により終了

平成 23 年 株式会社安全マネジメント研究所を設立、代表取締役所長に就任



（講演概要）『3つの真理』を基礎に築く安全・安心体制 - 新しい安全マネジメントの視点 -

未知の部分が多かった航空分野では、1970 年ごろからヒューマンファクターズに関する研究並びに取り組みが本格的に展開されてきた。「空は危険である」などの「3つの真理」をベースに、考えられるすべての安全対策を可能な限り実践してきた結果、今日のような安全実績を蓄積してきた。安全報告制度による予防安全の推進、CRM 訓練による前向きなチーム能力向上訓練の普及などを経て、近年では「SMS（運輸安全マネジメントシステム）」を取り入れている。他の産業分野との交流を行い研究成果も積極的に取り入れて、新しい安全マネジメント手法を開発し続けている。産業安全対策に終わりはない。